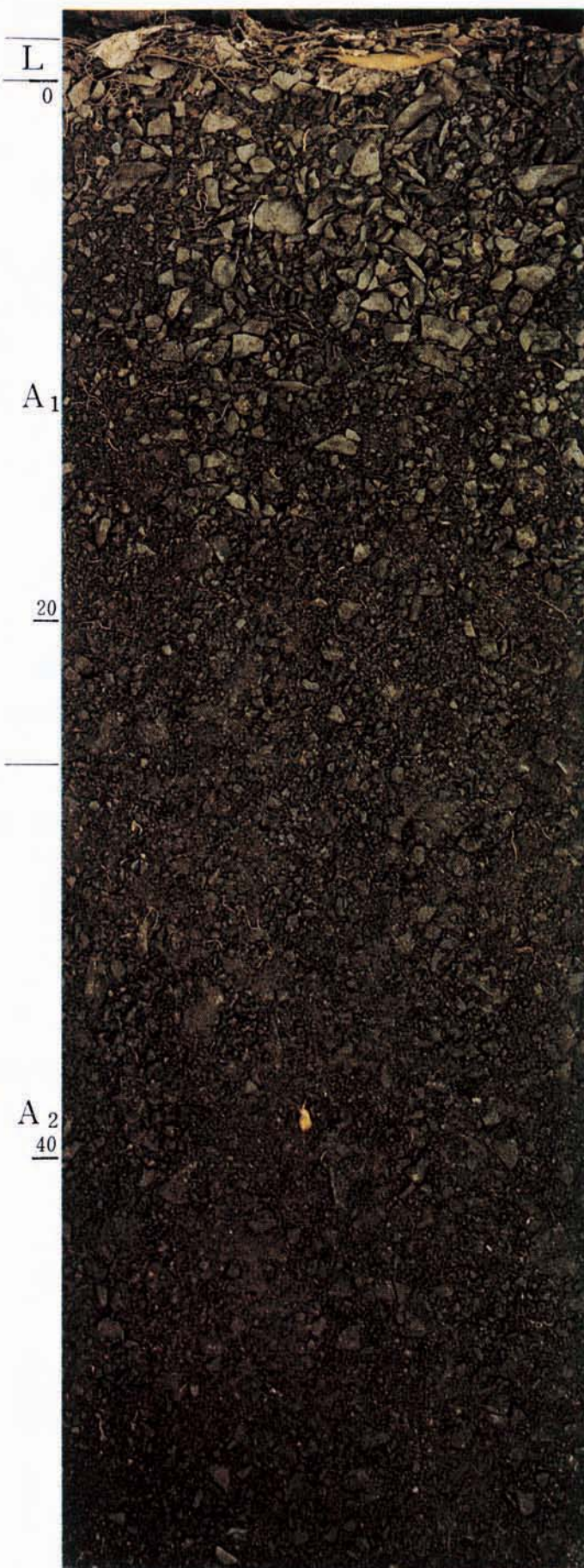


断面 17 B_E

弱湿性褐色森林土



母材料： 中生界の粘板岩

採取地： 宮崎事業区 70 林班つ小班

海拔高： 800 m

地 形： 谷頭の凹形斜面

方 位： N 70° E

傾 斜： 28°

林 相： サワグルミ、ヒメシヤラ、ミズキなどの
天然生林

断面記載：

L 2 cm サワグルミ、ミズキなどの落
葉、粗に堆積。

A1 25 cm 黒褐色 (10 YR ²/₂)、腐植に
富む、小角礫 60%、埴質壤土、団粒状
構造、軟、潤、小根あり、下層への推移
状態は漸。

A2 40 cm 黒褐色 (10 YR ³/₂)、腐植に
富む、小角礫 50%、埴質壤土、弱度の
団粒状構造、軟、潤、小根あり、下層へ
の推移状態は漸。

採取年月日： 1965年 3 月12日

B_E 型土壌は谷にのぞんだ斜面の下部，谷頭など，水分の比較的良好に集まる地形に分布する。この土壌も谷頭の凹形斜面にあらわれ，上方から土砂礫が崩落堆積した崩積土となっている。

A層は著しく厚く，腐植に富み，団粒状構造がよく発達していて，粗しょうであるうえに，1~2 cm の粘板岩小礫が多量に混入しているため，土層にすき間が多く，排水がよい。常時水分が供給される地形的位置にあって，過湿にならないのはこのためである。断面図には見えないが，B層は深さ 70 cm 以下にあり，腐植が比較的良好に浸透し，また水分が豊富なため灰色を帯びている。A層からB層への推移状態が漸变的であるのも，この土壌の特徴となっている。

林相はサワグルミ，ミズキを主とする天然生広葉樹林であり，低木階にウリノキ，サワアジサイ，イヌビワなどがある。地表階にはモミジガサ，サンショウソウ，ツリフネソウが多い。

B_E 型崩積土は，水分の供給にともなって養分也多量に供給されるから，一般に肥沃である。多くの樹種の造林に適しているが，とくにスギの最適地といえる。



採取地の林相

層 位	土壌中の細粒 (0.2~0.1 mm) の鉱物 100 分比								土 壌 中 の 粘 土 鉱 物			
	石 英	長 石	火 山 ガラス	火山砂	角閃石	輝石	磁鉄鉱	粘板岩粒	アロフェン	ギブサイト	加水ハロイサイト ・ハロイサイト	14~15 Å 鉱 物
A ₁	9.0	15.8	8.3	6.8		5.3	0.8	54.0	+	×	+	
A ₂	19.2	17.2	5.5	4.1	1.4	7.5	1.4	43.7	++	×	+	
(A)-B	7.6	12.5	11.1	4.2		3.5	0.7	60.4	+	×	+	++